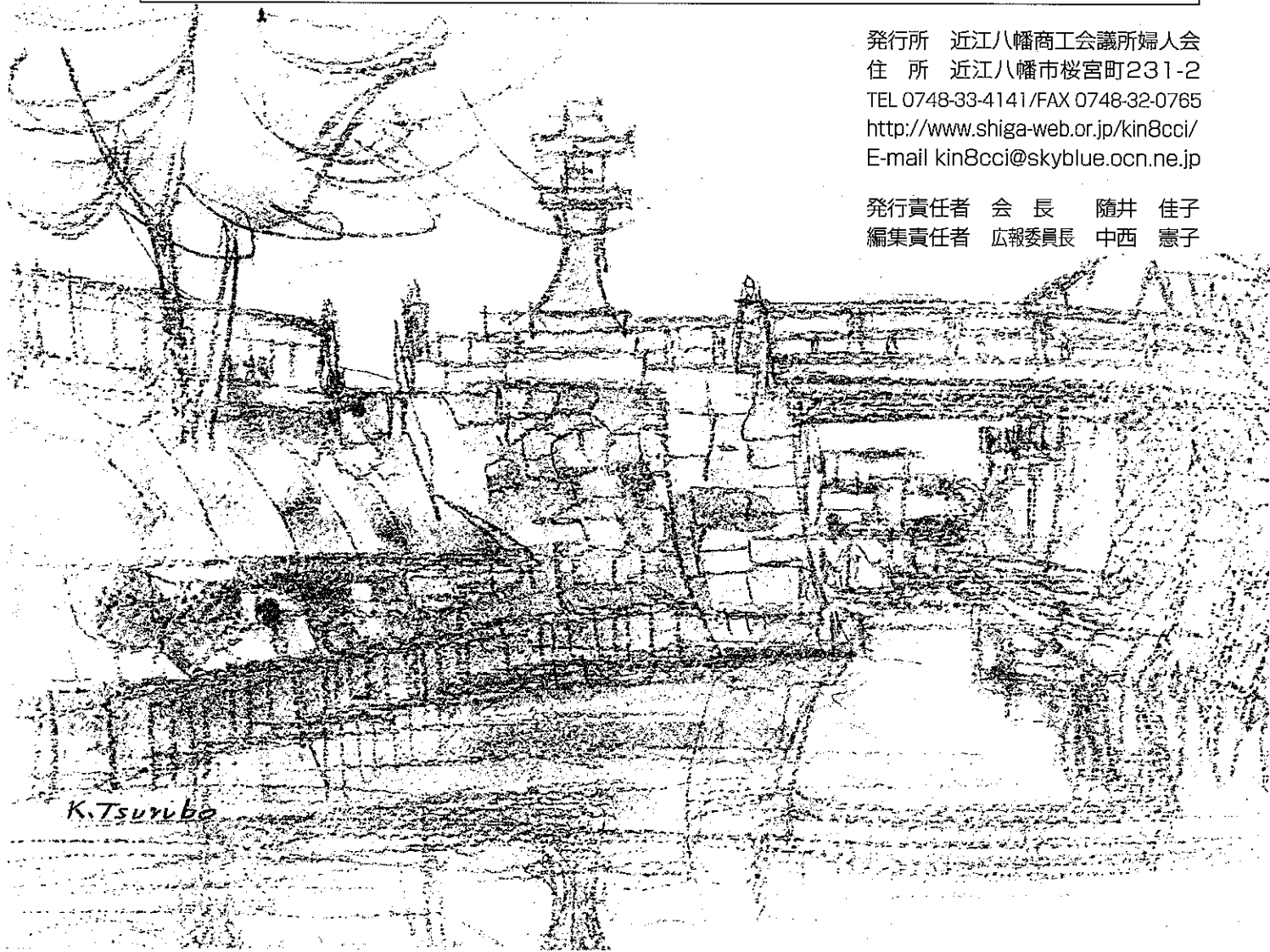


あすなろ

発行所 近江八幡商工会議所婦人会
住所 近江八幡市桜宮町231-2
TEL 0748-33-4141/FAX 0748-32-0765
<http://www.shiga-web.or.jp/kin8cci/>
E-mail kin8cci@skyblue.ocn.ne.jp

発行責任者 会長 随井 佳子
編集責任者 広報委員長 中西 憲子



ふしぎ
不思議

私は不思議でたまらない、
黒い雲からふる雨が、
銀にひかえていることか。

私は不思議でたまらない、
青い桑の葉たべている、
蚕が白くなることか。

私は不思議でたまらない、
たれもいじらぬ夕顔が、
ひとりではらりと開くことか。

私は不思議でたまらない、
誰にきいても笑って、
又たりまただ、ということか。

金子みすゞ全集より抜粋

「一日一生涯」

近江八幡商工会議所婦人会 会長 隨井 佳子

清流間断無し、若鮎の銀鱗がキラキラと水に美しく映える好季節でございます。大好きな近江八幡でいきいきとした花が、より大きく育ちたいと頑張る私達、近江八幡商工会議所婦人会の機関誌「あすなる」も、発刊以来第十二号を数えることになりました。

前会長の女性経営者として、仕事に携わり乍ら、あすなるの木のように、すくすく成長してほしいという願いを込めて名付けられた機関誌も、会員の方々の手により、お蔭様に充実して参りました。

社会はインターネット等による情報化時代ですが、私達の手づくりの機関誌を通じ、有益な情報を交換し合い、毎日の営業に、潤いのある家庭生活に活かしていくことが出来ればと念じるところでございます。

「一日一生涯」は、今は亡き小淵前首相の愛された言葉ですが、私の心に残る句に、

一休純禪師が書かれた名幅に「漁夫の生涯竹一竿」がございます。

清貧にあつても、悠々自適の尊い心で物欲を論じ、一本の釣竿でのどかに暮らしをたて、心ゆたかに「風流ならざる処、また風流」と自由な境涯を楽しみ味わっているというのがこの句の大意であります。即ち、自分に与えられた仕事は、天職であるから満足して、一筋に頑張つて全うすることが大切であるということとを教えられている様にと解釈しております。

この殺伐とした社会の中で、この句も心のよりどころの一つとして、一層励み精進努力したいものでございます。

どうか会員のお一人おひとりが力強く手を取り合つて、小さな花の輪が、大きな「輪」から「和」へとなり、明るくひびき合う心で、益々近江八幡商工会議所婦人会が発展致しますようよろしくお願い致します。

い申し上げます。

私達のモットー、仲良く心豊かで和やかでしなやかに、明日への原動力となる会でありますように



寄稿

近江八幡商工会議所婦人会 会報「あすなる」に寄せて

彦根商工会議所婦人会 会長 和田 早子

風薫る五月、初夏の風が心地よい時節となつて参りました。近江八幡商工会議所婦人会の皆様、初めまして、私、彦根商工会議所婦人会の和田と申します。

婦人会の皆様、益々お元気で活躍のこととお喜び申し上げます。

穏やかで、風光明媚な街、近江八幡で御暮らしの皆様、大変素晴らしい環境に恵まれ、誇りを持って事業経営、並びに婦人会活動に専念されておられることとお察し申し上げます。

平成十一年には、創立十周年記念事業を立派に催され、私も出席させて頂きました。が、会員の皆様のご協力と結束力の強さで心温まる式典に大きな感動を覚え、その節は、本当にありがとうございました。御座いました。

川端市長様、随井会長様とは、私と同年代でございます。川端様とは高校時代同級生で御座いました。その様な御縁で近

江八幡様とは格別の親しさを感じる次第で御座います。

御地の水郷巡りに一度訪れましたが、今も残るあの素朴な味は忘れられません。早春の日差しを受けて穏やかにゆつたりと進む船に身をまかせ船頭さんの説明に耳を傾け遠い昔に気持ちを馳せながら、脈々と続く歴史と伝統に今更ながら深い感動と感銘を感じました。

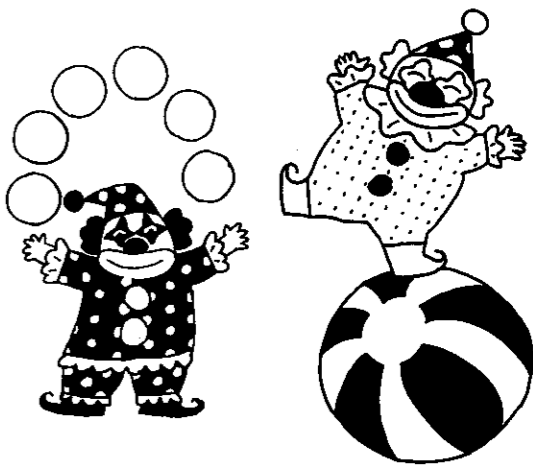
長い伝統の元に培われた商いの道、會つての近江商人がそうであつてよう。今の世にも伝え、受け継いでゆく非凡な発想とひたむきな努力によつて地域社会に貢献し、地域の発展へとつながっていくのではないのでしょうか。

新世紀を目前にし、景気の低迷であえいでいる今日、活気と希望に満ちあふれる社会にする為には私達女性の活躍が大切であります。滋賀県商婦連も設立され、婦人会全員が手をたつさえ、地域社会の

担い手となつて、女性パワーを発揮し魅力ある社会を創るよう努力し、現今の危機を乗り切りたいものと念願致しております。

会員の皆様、企業経営に携わる女性の立場でお互いの友情を深め、新たな飛躍を目指して更なる前進をされますよう心よりお祈り申し上げますと共に、近江八幡婦人会様の益々のご発展と会員皆様の御健勝を御祈念致しまして私のつたない寄稿とさせていただきます。





藤井 悦子さん

事業所名 藤井社会保険労務士事務所
所在地 長福寺町131
業 種 社会保険労務士業

新 会 員 紹 介

山本 孝江さん

事業所名 おふくろの味 おおきにやど
所在地 桜宮町220-5
業 種 飲食業

人の喜びは私の生きがい

景 白

滋賀県で中国健康整体院を開いて、もうすぐ二年になります。

中国整体は中国語で推拿と言います。これは全身の『つぼ』や経絡を重視し、手・指・肘を使って脊椎の異常や筋肉のこりを解し、自律神経や内分泌ホルモンの働きと全身の気・血・水の循環を良くし、バランスを取り、自然な治療力を高め免疫力の強化によって身体に潜んでいる老廃物や毒素を体外に排出させて、元気で健康な美しい身体に生まれ変われます。

『病は気から』と言う諺がありますが、気が弱くなると、内臓がおかしくなり、水の循環が弱くなれば、あちらこちらで『むくみ』がでてきます。たとえば、頭痛、腰痛、背中痛、肩こり等がその症状として出てきます。

若い時、中国で父親に付いてこの整体を二十数年間研究してきましたが、今、日本で皆様の健康にお役にたてることができ、とても嬉しく思います。

例えば、腰の椎間板ヘルニアの為、苦痛で長い間杖で身体を支えて歩いてきた人が、

数回の治療で仕事ができる身体になったこと。

また首の椎間板ヘルニアで両手、片方の手が思うように動かすことができない人。長年、重荷を背負っていた肩こり症の方々が笑顔で挨拶される時、私はこの仕事をしていてよかったですと思っています。つい先日奈良から来られた若い会計士の男性ですが、六年前に筋ジストロフィーと言う難病に診断されました。両手、両足がだんだん細くなり、力を入れることができず、不慣れた生活を送っておられました。整体に通ってからの数ヶ月後、四年ぶりにバイクにも乗れるようになったそうです。多くの方の笑顔は私の働く原動力であり、生き甲斐です。

これからも科学技術の発展に伴い、いろいろな現代病がでてくることは、避けられないと思います。そして二十一世紀はもうすぐです。元気で、長寿で健康で居たいものです。健康の秘訣は病気を治すことより、予防が大事と思うこの頃です。



ちよつとひびくんと

川島 昌子

田んぼが緑になり新緑の今日この頃です。新聞には、「…倒産」「…赤字決算」耳にすることは、「もうあかん」「私らの代で店しまいや」等々、不景気なことばかりです。

そういう言葉を読んだり聞いたりしますと私自身情なく哀しくなります。何故もう一息がんばれないのだろうか、方法がないのだろうかと。色々な原因があると思うのですが、もう完全に販売(需要)の見直しが絶たれ経営が出来なくなった場合は仕方が無いと思います。

しかし、後継ぎがないということで店仕舞することは残念です。後継者がいないということでは確かに経営者の意欲を無くし、衰退して行くでしょう。私も悩みました。後継者について。こんな商売苦勞するだけだから後継ぎささずに自由にどこへでも…と思ったことがあります。

でもそうすると従業員はどうなるのだろう。見通しのない職場には、人は集まって来ません。銀行も見通しのないところには後押ししてくれません。女性として特に商人の女として子孫繁栄を願う自分でなければならぬ

に…と思い直しました。

商売(企業)を継続して行くということは並大抵のことではありません。継続させることに意義がありその重要性を感じなければならぬ。それが信用であり誇りであると思えます。欲にとらわれず実生活に密着した地道な商売として続けて行くつもりです。

今は、後継者に感謝し、私共のやり方を否定し、肯定しながら自分達のやり方を見出し継続してほしいと願うばかりです。息子の嫁のお腹の内孫に「よろしく」と声をかけています。

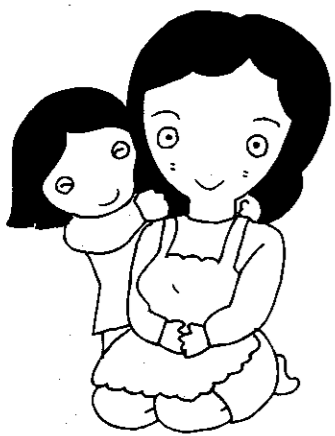
「母の日」に思う

太田 悦子

毎年、母の日になると三人の子供達がそれぞれ素敵なプレゼントをしてくれて、嬉しい思いをしているけれど、「贈る喜び」を与えてくれる母はもうこの世には亡く、「母の日」が来るとなんとなく寂しい思いをするものがある。

母の思い出はいろいろあるけれど、一番印象に残っていることは、まだ若い頃の澀刺と働いている姿である。着物に真白いかっぱ着、頭はきりりと姉さんかぶり。着物好きの母は

いつもそんな格好で掃除をし、台所に立っていた。今ではそういう姿はあまり見られないけれど、あの装いは今のどのファッションよりも素敵に思える。母は又、料理が上手で年をとってから、手間ひまかけたごちそうをよく作ってくれた。家族の誕生日や四季折々の行事があるごとに、それにふさわしい料理が食卓に並べられた。今でも主人や私の子供達までも「おばあちゃんの作ってくれた○○はおいしかったなあ」と言っているのを聞くと、この子達は「おふくろの味」よりも「おばあちゃんの味」の方が心に残っているのかなとちよつと悔しい思いもするが、未だにあの母の味は出せないでいる。晩年は少しの間だけだけれど曾孫と一緒に遊び相手をする日々を持てることも出来た。今は主人も私も共に両親が亡く、今更ながら親のありがたさを感じみ思い、感謝の気持ちで朝夕手を合わせている毎日です。



私は天秤棒

清水 智子

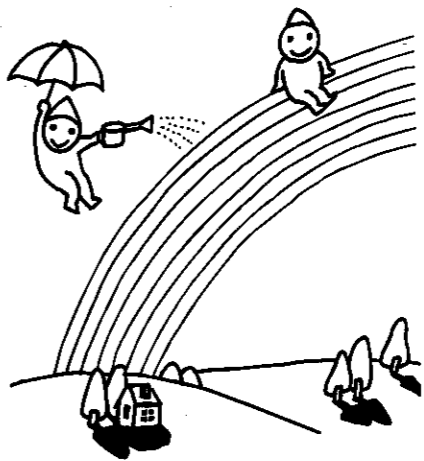
天秤棒、私を担ぐのは主人で有る。左右バランスよく荷物を掛けてくれれば楽で有る。しかし、主人は前に沢山の荷物を掛けたり、後ろに多くの荷物を掛けたり私の事をあまり考えず無理をする。やじろべえの様に自分を中心で左右バランス良く出来ないかと思う。昔の近江商人は天秤棒一本で日本国中旅をし、近江の産物を担いで行商をし、先方の産物を近江の国で売り捌き、前良し、後良し、担ぎ手良し、と三方よしの精神を何時も心がける素晴らしい近江商人を見習って行動する主人でいて欲しい。そうすれば私はどんな重荷にも耐えられる天秤棒になれると思います。

戦国時代織田信長は、安土に経済の重要性を見抜き、楽市楽座で商人を集めて町の繁栄を計り、又豊臣秀次は八幡堀を築き、琵琶湖を往来する荷船は八幡へ寄るように定め堀端には白壁の土蔵を並べ城下町の繁栄を計りました。

現在、主人の築いた「あきんどの里・千里庵」で近江牛とコーヒーの店を切り回しています。近江牛、赤こんにやく、丁字麩、野菜、近江米

と全て近江八幡の産物でお客様に喜んで戴いて居ります。

天秤棒は「商いの心」地場産物を流通させ、近江八幡の発展に少しでも寄与出来ればと思ひ、近江商人の天秤棒を目指し、主人と共に歩んで行きたいと頑張ります。今後共宜しくお願い致します。



子育てもまた楽し

井上 美江

此の頃一日一日が矢の様に早く過ぎて行きます。「自分の年のせいかな」と思っただけで、毎日追い掛けられているからかなと思っただけで、朝起きれば祖母で有り乍ら、母親を

しなくてはならないし、主人も祖父で有って父親でも有り、祖父母と孫二人との変則的な家庭で、十四年前息子夫婦の離婚と云う思っても見なかった事が現実になり、最初はどうした物かと思ひあぐねておりました。私は自分の子育ては失敗でも、済んでしまった子育てを、もう一度やる様な気分にはなりません。その時、二十一歳の娘が「私が育てて見るからお母さん手伝いをしてほしい」と云いました。「一日や二日の事ではないので良く考えて」と申しましたが、自分なりに決心をし、気が変わらないうちに「じゃあ皆で協力を合せて育てて行こう」と云う事になりました。今ふり返って見れば、いろんな事が有りました。いじめられて来て、「明日から学校へ行くのいやや」と云ったり、言葉の暴力で一番気にしている母親の事を云われて、家へ帰って泣きじゃくり、私達が両親を育てて育てていた時わからなかった事が、始めてわかったりもしました。

現在、高三と中二になった孫を見乍ら、よく育てて来たものよと思ひ、これも健康のおかげと、日々感謝の気持ちで一杯です。年も若くはないし、これからも日々を大切に、健康に気を付けて、もう少しの間頑張りたいと思います。

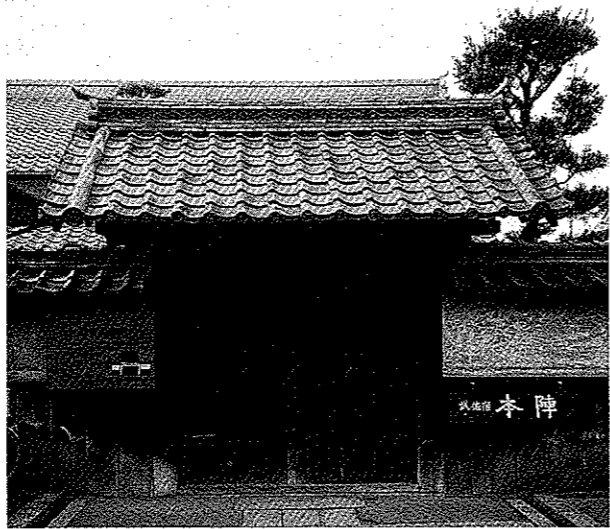
ぶらり八幡

ふるさと街道 武佐宿

『ガチャコン』の通称で親しまれる近江鉄道の武佐駅。駅をすぎると武佐宿に入る。

駅のホームに沿って道が屈曲しているが、これはかつて「見付」とも「大門」ともいわれた宿場や城下町の入口として防衛的な機能をもっていた施設の名残りを示すものである。宿場のちようど中間に、武佐郵便局がある。局舎全体が伝統建築の雰囲気を持ち、ポストなどは時代風のデザインとなっている。というのも、ここが武佐宿本陣になるからである。ななめ向かいには、旅籠の雰囲気を与える一軒の旅籠があり、この旅籠の少し東にある大橋家は、宿場役人をつとめた家で、現在の武佐でもっとも宿場の面影を残した建物となっている。街道筋の反対側にある庭園も、近世後期の作例として高い評価をうけている。本陣は下川家で、今も立派な門構えや庭園・土蔵があり、昔の面影が偲ばれる。

武佐宿は、東山道、中山道、八風街道の合流地で、数多くの人々が行き交い、交通の要であった。宿場の中でも一番重要な役割を



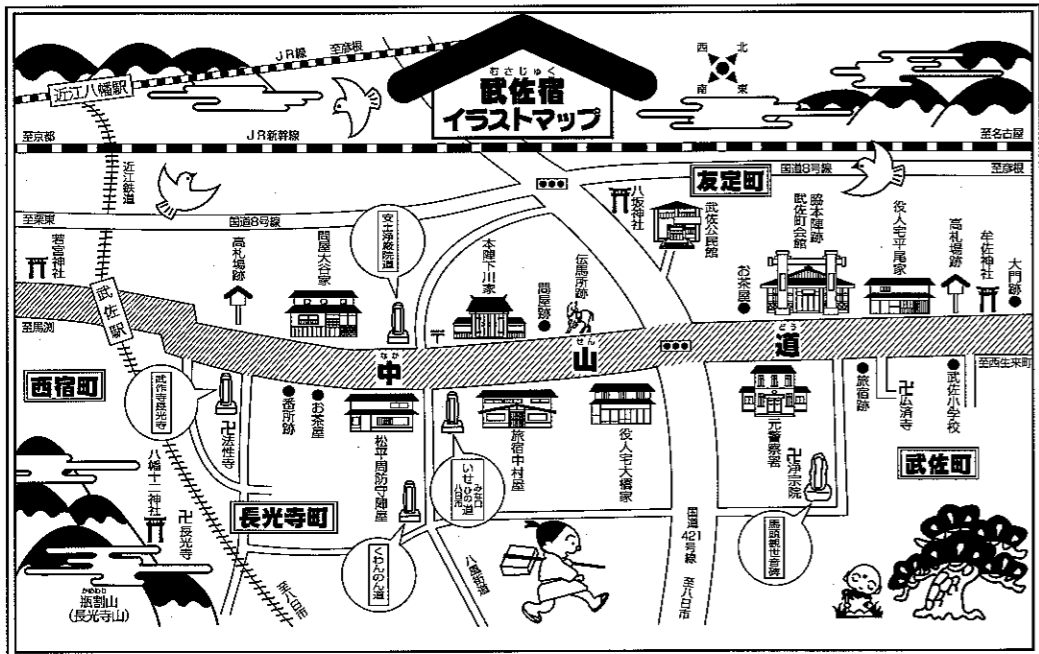
果たしていた本陣では、かつては公家や大名が、休憩や宿泊に利用していた。將軍に献上するお茶壺の通行は有名で、本陣はもちろんのこと、宿場は大変な騒ぎであったにちがいない。

しかし、近代以降の交通革命により、武佐宿は宿場としての使命を終えることとなった。町なみも、かつての面目を証言する建物は減少していく中、武佐の歴史をこれからの町づくりに活用していくべきではと、地域住民によってさまざまな取り組みが進められている。

『ムシャリンドウ』とよばれる花の栽培や、

武佐出身の伊庭貞剛の顕彰、また、武佐の民話や言い伝えを構成した『武佐宿物語』の発行など、豊かな歴史に学びながら、地域に根ざした新しいまちづくりに力が注がれている。

資料提供/武佐宿を考える会



おじゃましてます!!



フレッシュショップ

京 六

電話〇七四八一三二二六二五

近江八幡市仲屋町上三十五

川村 志奈子さん

創業百二十三年。「京六」と言えば、特にお年寄りの方ならどなたでも知っておられると思います。

現在は野菜・果物・塩干・乾物・惣菜・菓子・パン等々、食品はほとんど何でも揃っています。

朝は四時半からご主人が、京都の中央市場へ、地場物は、昼から野市に仕入れに行かれます。ご主人と奥さんで二人五脚位の気概性で頑張っておられます。

また、お年寄りの方もだんだん多くなり、地域に密着した憩える楽しいスペースである事も願っておられます。

ご家族は、ご主人・奥さん・おばあちゃん、娘さん三人はそれぞれ自立して遠くに住んでおられ、店はご主人の妹さん達がお手伝いをされています。



商売処生訓として、『柔らかく、まるくてまめで愛想良く、腰は低げど気品は高く』をモットーに、いつも笑顔の奥さんが看板の、町のコミュニティーの要になっている京六さんです。



今後の行事予定

六月
あすなる第十二号発行

七月

近畿商工会議所婦人会連合会総会洲本大会
並びに視察見学会(ジャパンフロラ)：七、八日
秀次法要参加：十五日
奉仕作業(クリーン運動)

八月

チャリティバザー準備：五日
てんびんまつりチャリティバザー開催：六日
夕涼み会(施行後の介護保険法勉強会と懇親会)

九月

同和問題研修会、資質向上研修会

十月

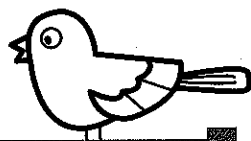
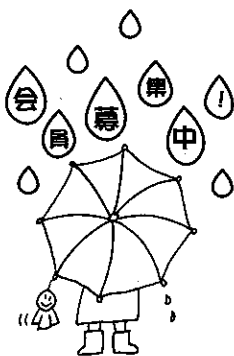
講演会開催

十一月

第三十二回全国商工会議所婦人会
連合会総会横浜大会(主商婦連創立
三十周年記念式典)視察見学会：七、八日
あすなる十三号発行

一月

新年懇談会
市長と語る会



豊臣秀次公の法要で

お献茶とお呈茶のおもてなし

をさせていただきます。

■とき 七月十五日(土) 午前10時より

(法要は10時30分より行われます)

■ところ 八幡公園 秀次銅像前にて

■定員 先着100名様

無料です。ぜひお越し下さい!!

編集後記

新緑が目にも鮮やかな季節になりました。お忙しい中ご寄稿くださいました皆様ありがとうございました。周年行事も無事に終えることが出来、広報委員会も決意を新たにがんばろうと意気込んでおります。シリーズ化していきます。ぶらり八幡と会員訪問の他に今回から当所婦人会をアピールする目的で「あすなる」を情報発信の場にしたいと考えております。皆様どしどし情報をお寄せ下さい。そして活動の場を広げて下さい。

楽しんでいただけ、ちよつとためになる会報作りを目指しております。今後ともご協力よろしく願います。

第二委員会 広瀬 真由実